令和２年６月１２日

各地区協議会会長様

各団団委員長様

各団事務局様

日本ボーイスカウト鳥取連盟

理　事　長　　　　　　涌島　勉

県連盟コミッショナー　坪倉　顕示

新型コロナウイルス感染並びに熱中症への対応について

　三指

　首記の件につきまして、日本連盟からの通達及び当連盟としての取組に御協力頂き、厚くお礼申しあげます。当連盟といたしまして、先日、日本連盟からの第９報を受け、県並びに県内自治体の状況等、学校の就業状況等鑑み、県連盟として新しい日常に向けた活動の方針とこれからの季節において危惧される熱中症予防についての留意点についてもまとめましたので遵守して、安全・安心な環境での活動をして頂きますようお願い申し上げます。

　但し、状況の変化などにより、再度、活動の自粛をお願いする事もありますので予めご了承の程、宜しくお願いいたします。

記

１　感染の予防と実践について

　感染リスクはゼロにならないと言うことを前提として、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減させながら活動を行う。

１．「新しい生活様式」の徹底による活動

　①活動における感染に繋がる可能性が高い「３つの密」を全て避ける。

　　　・密閉空間、・密集場所、・密接した会話

　②キャンプなどの宿泊を伴う活動については、野外活動であっても参加者相互が長時間にわたり接触することになるので、８月末を目安として行なわないでください。今後、延長する可能性があります。

③活動毎の想定と対応例について、日本連盟のガイドライン（ホームページで公開）に掲載されていますので、今後の更新内容についての確認をお願いします。

④スカウトの保護者へ、コロナウイルス感染拡大防止のためのスカウト活動における対応を説明いただき家庭との連携をお願いします。

⑤感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などが危惧されています。新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見について考え、適切な行動ができるよう指導をお願いします。

　　　これについては、以下のURLに詳しい情報がありますのでご参照ください。

「３つの感染症」日本赤十字社

<http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html>

ａ．主催者の対応

　　　　　ⅰ消毒（事前）（活動中）

　　　　　　・参加者個々への手指消毒の励行。

　　　　　　・複数人で使用を共有する器具などの消毒。

　　　　　ⅱ消毒薬などの用意

　　　　　ⅲ活動場所（空間）の管理

　　　　　　・活動場所については、換気の良い、密集をさけた空間を選ぶ等工夫を行う。

　　　　　　・室内などでは、密集を避ける人数、広さなどを考慮し、換気を定期的に行う。

　　　　　　・夏季に向かって高温多湿となる季節なので、熱中症の対策も考慮する。

　　　　　　・団本部など、利用頻度の高い場所など、こまめに消毒などを行う。

　　　　　　・普段から占有して利用できる施設、野営場など施設のルールに従うこと。無い場合は、独自でルールを設ける。

　　　　　ⅳ活動内容　低接触

　　　　　　・ゲームや集会内容について、飛沫感染、接触感染に注意した内容とする。

　　　　　　・活動の計画に無理をしない。（新型コロナウイルス感染前に計画した事業については

　　　　　　　見直し、中止あるいは延期、又は方法を変えて実施する。）

　　　　　ⅴ安全対策

　　　　　　・活動について、新型コロナウイルス及び熱中症などの安全対策計画書を作成の上、活動前に少なくとも団委員長には了承を得るようにして下さい。（できれば団委員長経由地区コミッショナーへ事前提出。）

　　ｂ個人（参加者、付き添い等）

　　　　　　・手洗い

　　　　　　・マスク、咳エチケットの励行

　　　　　　・体調管理：「自分がうつらない」「人にうつさない」を基本とする。検温などを行う。

　　　　　　・飲料などは、個人で携行し、まわし飲みなどしないようにする。

２　活動の内容（計画）について

　３つの密を避けた計画の徹底を行う。

　　　　　ⅰスカウトが活動参加前にする事

　　　　　　・体調の確認をする。（検温をする）保護者に活動の参加の同意を得る。

　　　　　　・個人の備え（マスクなど）を行う。

　　　　　ⅱ指導者が準備しておくこと

　　　　　　活動の最初に指導者による参加者全員の体調の確認

　　　　　ⅲ飲料や食事への配慮

　　　　　ⅳ休憩、トイレでの配慮

　　　　　ⅴゲームや活動での工夫

　　　　　　・密集を避ける

　　　　　　・歌などは十分な距離を取る

　　　　　ⅵマスクや消毒液がなかったら

　　　　　　・マスクなど参加者が忘れた場合のために、隊で予備を準備。

・消毒液が無い場合は、除菌のウエットティッシュ（手指など拭く用と物を拭く用）を準備する。手指拭く用でアルコールタイプとそうでないタイプがあるので、アレルギー体質の人に気をつけること。

ⅶ宿泊を伴う活動

・８月末までは、行わない。

ⅷ活動に伴う移動

・県内の移動は可能。

・県外への移動、中国5県内の移動について知事会では可能となっていますが、できるだけ控える様にして頂きたい。その他の地区に対しては、当面禁止とする。

　　　　　　・移動の手段（公共交通機関、マイカー等）において、３密とならないようにする。

　　　　　ⅸ活動の規模

　　　　　　・隊や団行事について、特に人数制限は設定しないが、前述の項目を遵守し活動する。

　　　　　　・地区等イベント等開催の目処として参加者100人以下、且つ定員の５０％以下とする。

　　　　　　・県連７０周年記念行事については、準備期間も考慮し、別途決定する。

３　その他活動基準及びまとめ

|  |  |
| --- | --- |
| 　　スカウト活動の判断 | 実施にあたり下記を注意して実施 |
| 県連盟及び地区 | 会議等 | 感染防止措置 |
| 大会、ラリー等（１００人以上） | 延期・中止＊70周年記念行事は別途検討 |
| 進級面接、考査など | 感染防止措置 |
| 指導者訓練、研修（集合型及び個別支援） | 「指導者集合訓練における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従って開催＊個別支援は、この文書発信後より可＊集合型については、９月より開催可＊オンラインによる研修の開催は特に制限はなし |
| 都道府県連盟業務 | 感染防止措置 |
| 団及び隊 | 諸会議 | 感染防止措置 |
| その他団行事 | 感染防止措置 |
| 隊集会、スカウトの会議 | 感染防止措置 |
| ハイキング、ピクニック | 感染防止措置 |
| 野営・舎営等（宿泊を伴う活動） | 目処として8月末まで禁止 |

新しい生活様式に対応擦る為の感染防止措置

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 感染防止措置 |
| 主催者準備 | 事前の消毒実施 | ○ |
|  | 実施中の消毒実施 | ○ |
|  | 手指消毒液の備え付け | ○ |
|  | フィジカルディスタンスの確保（１席分） | ○ |
|  | 換気 | ○ |
|  | 宿泊時は個室 | ○ |
|  | 安全対策計画書の作成徹底 | ○ |
| 個々の準備 | マスク着用＊但し、これからは、高温多湿の季節になるため、飛沫感染、接触感染防止のため、フィジカルディスタンスを確保した上で、マスクをはずす等、熱中症対策を行う。 | ○ |
|  | 手洗いの実施 | ○ |
|  | 体調の管理 | ○ |
|  | 事前の体温検温 | ○ |

４　熱中症予防行動の留意点

　１．「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

　　　・屋外で人と十分な距離（少なくとも２ｍ以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにして、熱中症のリスクを少なくする。

　　　・マスクを着用している場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくても、こまめに水分補給に心がける。また、周囲の人との距離を十分とれる場所では、適宜、マスクを外して休憩する。

　　　・日頃より、体温測定や健康チェックを行い、体調が悪いと感じた時は、無理をせず自宅で静養したり、活動中に気分が悪くなったりしたら、がまんせず、すぐ指導者や大人の人に言って休む様にする。

　　　・３密を避けつつ、お互いに気をつけあい、声かけをする。

　２．従来からの熱中症予防行動の徹底

　　　○暑さを避ける

　　　　・室内では、温度や湿度をこまめに調整する。

　　　　・野外の活動では、天気予報や「暑さ指数ＷＢＧＴ」を参考にして、暑い日や時間帯をさけ、無理のない範囲で活動する。

　　　　・涼しい服装に心がけ、外出したり、野外での活動には、必ず帽子などを着用すること。

　　　　・少しでも体調が悪くなったり、気分が悪くなったりしたら、涼しい場所に移動して水分を補給する。

　　　○こまめに水分を補給する。

　　　　・のどが渇くまえに、こまめに水分補給をする。（一般的に、食事以外に1日あたり1.2リットルの水分の摂取が目安とされている）

　　　　・激しい運動や作業を行った時、たくさん汗をかいた時などは、塩分も補給する。

　　　○普段から暑さに備えた体作りをする。

　　　　・暑くなり始めの時期から適度に運動（「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日３０分程度）を心がけ、体が暑さに慣れるようにしよう。（水分補給をわすれず、無理のない程度で運動をする）

以上